９　研究組織

校　長

教　頭

研究推進部
（研究主任、研究副主任、教務主任、メディア教育主任、特活主任、学習園担当）
〇校内研究の方向付け　〇研究内容の検討
〇全体研修会の企画・立案　〇学びを支える基盤づくりの具体策検討

全体研修会（全教員）
〇研究の計画・実践についての共通理解
〇研究推進委員会からの報告の共有・提案の検討
〇指導案検討会　〇授業研究会（一人一授業を提案）
〇研修報告・伝達講習会　〇ＯＪＴ研修会
〇全国学力・学習状況調査、県学習状況調査の結果分析と活用

校　　長：太田三千代
教　　頭：須田　康則
主　　事：三浦　春香
養護教諭：小玉真紀子
教務主任：田川　俊和
１年梅組：戸部由美子（研究主任）
２年梅組：嵯峨　笑優
３年梅組：佐藤　翔音
３年桃組：伊藤　靖子
３年・６年杏組：小山田和世
４年梅組：小沼真由美
５年梅組：髙橋理佳子
６年梅組：金　法男（研究副主任）
算数科専門監：木田　敦子
学校生活支援員：西村　栄子
大森富美子

〈 授業研究についての主な取組 〉
〇「研究だより」を作成し、研究に関わる情報や資料などを提示する。
〇提案授業の計画・実践などを通して、授業力の向上を図る。
〇授業実践の成果と課題をまとめる。
〇研究関係諸団体との連絡調整を行う。
〇小中連携事業を推進する。
〇教育専門監と連携し、「秋田の探究型授業」の基本プロセス（「学習の見通しをもつ、自分の考えをもつ、学び合う、学習の内容や方法を振り返る」）を機能させた授業づくりの充実を図る。
〇研修・出張計画を作成し、提案する。
〇諸調査やアンケートの結果を分析し、指導に生かす。

〈 学習指導についての主な取組 〉
〇学習の約束づくりと基本的な学習習慣の形成について提案し、全職員の共通理解を図る。
〇「学習指導だより」の発行を通して保護者との連携を図り、学校での取組について理解と協力を得られるようにする。
〇高学年のチャレンジタイム（補充学習）と読み上げ算を含めた朝学習の取り組み方、チャレンジテスト（ミニテスト）や、夏休み明けテスト・冬休み明けテスト(漢字・算数）について提案し､基礎学力の習得と定着を図る。
〇「家庭学習の手引き」の配付や、「自学ノート展」の実施などにより、自主的学習習慣の確立を図る。
〇校内の学習環境（掲示物等）を整備する。
〇毎日２０分間の読書タイムを設定することで、読む力の基盤をつくり、語彙力の向上を図る。